

令和4年度 海南nobinos・下津図書館 おすすめブックリスト



対象	タイトル	著者名	出版社名	刊行年	おすすめコメント
幼児	どうぞのいす	香山 美子//作 柿本 幸造//絵	チャイルド本社	1981.11	あとの人にお気の毒…他人を思いやる心が優しい気持ちにさせてくれます。
	おじいさんと10びきのおばけ	にしかわ おさむ//作・絵	ひかりのくに	2002.6	こんなおばけとなら一緒に住んでみてもいいかな、と思えるお話です。
	りゅうじんさまは歯がいたい	関屋 敏隆//作・絵	ポプラ社	2015.8	りゅうじんさまが虫歯になって、水が干上がってしまいました！かっぱの伝助が「ごんごーる」で治してくれます？！
	やさしいかいじゅう	ひさまつ まゆこ//作・絵	富山房インターナショナル	2013.9	かいじゅうと、かいじゅうの涙で育った木との友情が優しくかわいのお話です。
	おいしそうなしろくま (シリーズ1「しろくま」シリーズあり)	柴田 ケイコ//作・絵	PHP 研究所	2017.1	ただおいしそうだけでなく、食べ物の中に入っちゃうところがおもしろいです。
小学生低学年	ぼくだけのこと	森 絵都//作 スギヤマ カナヨ//絵	信成社	2013.5	世界中に、ひとりだけの「ぼく」を発見する絵本。うれしいこと、こまったこと、得意なこと……「自分」には色々な一面があると気づかされる一冊です。
	うれないやきそばパン	宮永 まい//文 いぬんこ//絵 中尾 昌穂//作	金の星社	2012.9	どんな自分も大事な個性。認めてくれる誰かがきつという！そう思わせてくれる作品です。
	銀河鉄道の夜	宮沢 賢治//原作 藤城 清治//影絵・文	講談社	1982.12	ほんやりとした幻想的な作品世界が美しい白黒の点描で描かれています。文学に触れるきっかけにいかがでしょうか。
	せいめいのれきし 地球上にせいめいがうまれたときから いままでのおはなし 改訂版	バージニア リー パートン//文・絵 しいい ももこ//訳 まなべ まこと//監修	岩波書店	2015.7	地球が生まれてからこれまでの歴史が劇場仕立てのイラストで紹介され、見応えがあります。
	エルマーのぼうけん (シリーズ1 全3巻)	ルース スタイルズ ガネット//作 ルース クリスマン ガネット//絵 わたなべ しげお//訳 子どもの本研究会//編集	福音館書店	2010.3	冒険の代表作といえるでしょう。大人になって読み返しても感動する作品です。
小学生中学年	ルドルフとイッパイアッテナ (シリーズ1「ルドルフとイッパイアッテナ」シリーズあり)	斉藤 洋//作 杉浦 範茂//絵	講談社	1987.5	「いつでもできるって思っているやとらなくなってしまうもんだ。」「できないやつをばかにするなんて、最低ねこのすることだ。」…名言の数々に共感します。親子で読んでほしい本です。
	こちらマガーク探偵団! (マガーク少年探偵団1 シリーズ全8巻 新装版)	E. W. ヒルディック//作 藤沢 忠枝//訳 山口 太一//画	あかね書房	2003.11	初めてミステリーや推理小説を読むならこの一冊をどうぞ。テンポのいいストーリーでどんどん読めちゃいます。
	少女ポリアンナ	エレナ ポーター//作 横山 洋子//監修 立原 えりか//編訳	学研プラス	2015.1	叔母の家に住むことになった、11歳の少女ポリアンナ。おしゃべりで、活発で、父親から教えてもらった「幸せゲーム」が大好きです。彼女は叔母の家の人々だけでなく、まわりの人々をも明るく変えていきます。
	枕草子	清少納言//作 長尾 剛//文 若菜 等//絵 K i //絵	汐文社	2018.11	今風の言葉になった枕草子を読めば清少納言の感覚が分かるかもしれません。彼女の感じるカワイイを感じてみてください。
	みえるとかみえないとか	ヨシタケ シンスケ//作 伊藤 亜紗//相談	アリス熊	2018.7	視覚障がいについて、子どもにもわかるように描かれています。障がいだけでなく、自分と他の人との「違い」でも同じように考えられると思います。
小学生高学年	ハリー・ポッターと賢者の石 (シリーズ1 全7巻 上下巻になっている巻もあり)	J. K. ローリング//作 松岡 佑子//訳	静山社	1999.12	細かい情景の描写が、異次元の世界へ誘ってくれます。魔法の術になること間違いなしです！
	ペンネンネンネンネン・ネネムの伝記	宮沢 賢治//著	金の星社	1986.2	宮沢賢治が何度も書き直して大事にしたお話です。じっくり読んで作者の世界を感じてください。
	愛のうらおもて (中学生までに読んでおきたい哲学 1 シリーズ全8巻)	松田 哲夫//編	あすなろ書房	2012.9	愛とはなにか。簡単に説明できないものです。様々な年代の作家の小説やエッセイ、落語から愛について考えさせられる一冊です。お気に入りの作家を見つけるのもいいかもしれません。
	放課後の時間割	岡田 淳//作・絵	信成社	1980.7	学校エズミが聞かせてくれる、少し不思議なお話ひとつひとつがとてもおもしろいです。学校エズミと先生との友情も素敵です。
	アドリブ	佐藤 まどか//著	あすなろ書房	2019.10	フルート奏者を目指す、少年ユージの成長物語。葛藤や自分はどう在りたいかなど、共感できるところが多々あると思います。
中学生・高校生	生誕120年人間・松下幸之助 明日への道をひらくヒント		PHP 研究所	2014.7	松下幸之助が、PHP研究所の機関誌「PHP」の裏表紙に、時にふれ折にふれての感懐を綴った短文をまとめたものです。
	ロードス島戦記 (シリーズ1 全7巻)	安田 均//原案 水野 良//著	KADOKAWA	2013.11	これぞ王道ファンタジー小説！最近はやりの「ならう系」ファンタジーが物足りないと思った方におすすめです。
	虹いろ図書館のへびおとこ (シリーズ1 シリーズあり)	櫻井 とりお//著	河出書房新社	2019.11	図書館という居場所に出会って主人公ほのかの心が変化していく様子が良かったです。ラストの光景が印象的です。
	養老孟司 特別授業『坊っちゃん』 夏目漱石	養老 孟司//著	NHK 出版	2019.2	大人になってどうということだろうと考えるヒントを見つけることができる本です。
	図書館戦争 (シリーズ1 全4巻 別冊2冊 文庫版)	有川 浩//著	KADOKAWA	2011.4	本が狩られる架空の現代を舞台に、超法規的機関に対抗するために図書館の自衛組織「図書館隊」が立ち向かっていく！シリーズは、番外編も含めると6冊ありますが、読み始めると止まらなくなり、一気に読めてしまいます。果敢に立ち向かっていく、個性豊かな図書館隊メンバーたちが格好いんです。
一般	路上のジャズ	中上 健次//著	中央公論新社	2016.7	1960年代、新宿、ジャズ喫茶。デビスに涙し、アイラーに共鳴し、コルトレーンに文学を見た中上健次。エッセイを中心に詩、短編小説などを収めた、ジャズと青春の日々をめぐる作品集で、ロングインタビューも併録されています。
	竜馬がゆく (シリーズ1 全8巻 新版)	司馬 遼太郎//著	文藝春秋	1998.9	難しくて苦手だった幕末が、この本を読んで一気に大好きになりました。竜馬さんの魅力に存分に浸ってください。
	マカン・マラン 二十三時の夜食カフェ (シリーズ1 全4巻)	古内 一絵//著	中央公論新社	2015.11	温かい料理で疲れた人々を癒してくれるお店を舞台にした小説です。温かい料理の安心感と、悩みを持つ客がなぜか引き寄せられるドラッグクイーンのお店という非現実的な空間が心地いい作品です。
	対岸の家事	朱野 陽子//著	講談社	2018.8	家族のために「家事をすること」を仕事に選んだ詩穂は、繰り返される毎日に自分の選択が正しかったのか迷います。多かれ少なかれ、生きていく上で避けては通れない「家事」という仕事。悩みも苦しみも、あなただけではなくと応援してくれる全世代向けの小説です。
	ライオンのおやつ	小川 糸//著	ポプラ社	2019.10	若くして余命を告げられた華は、残りの日々を瀬戸内の島のホスピスで過ごすことに決めます。ホスピスでは毎週日曜日、入居者がリクエストできる「おやつの日」があって…。"死"を扱ってはいますが、決して暗いお話ではありません。とことん心に響く言葉が散らばっています。悔いなく、一日一日を大切に生きていと思わせてくれる一冊です。

